



12月号

2025 No. 515

もろみを敷き詰めた布を幾重にも重ねてしぼります（図）
今でも人の手で丁寧に作業していると説明がありました

学んだことを伝えたい

消費材ってやっぱりすごい！



北海道遺産指定、赤レンガづくりの醤油蔵

福山醸造(株)

醤油・めんつゆ・白だしなど



収穫後の広大な圃場。子実用トウモロコシは、穀物の中で最も生産効率が良く、ナタネや大豆、小麦などの輪作に適しています



北海道子実コーン組合

石川養鶏場・(有)島田養鶏場・
(株)平田牧場・(有)古川農場の飼料

生産者の柳原さんから話を聞きました

2025 消費委員長・運営委員長研修

今年度2回目の研修には委員長など12人が参加し、福山醸造(東区)と北海道子実コーン組合(長沼町)を訪問しました。福山醸造では醤油の製造工程を見学し、茂又さんと霜野さんから道産にこだわった原料や道内で循環しているリユースbinについておきました。北海道子実コーン組合では、子実用トウモロコシによる飼料の自給率向上や持続可能な農業への取り組み、その活動が全国各地に広がっていることなどを聞きました。生活クラブと提携生産者がともに消費材をつくっていくことが、市場の課題を見つめ、解決に向けて取り組む運動なのだと再確認する貴重な機会となりました。

〈10/21 消費委員会担当理事 石黒 真理〉

INDEX

2025年度上半期監査報告

消費材への理解を深め 組合員みんなで拡大・利用結集を

3

2025 わくわくまつり

4～5

2025 シャボン玉フォーラム in おおいた

6

上田文雄氏から私たちへ

7

生活 クラブ Wind



組織活動

4月からいれまだ、チラシまさにや展示説明車あみーか運行、生産者コラボイベントなどの拡大活動をおこなってきました。12月には各支部で活動を振り返り、来年度に向けて臨時運営委員会を開きます。以下の議論が、支部の議案書づくりに反映されます。



日頃の疑問や消費材の使いこなしなどを、聞きに行つてみませんか。もうじき生活クラブのことを知る、絶好のチャンスです。



消費委員会

私たちの消費材は、どうにでも売っているものではありません。遺伝子組み換えのものは使わない、添加物も可能な限り使わないで欲しいなど、生産者と組合員が話し合いつくられています。

工夫や苦労を重ねてつくりてくれる生産者のためにも、私たちには食べる責任があります。皆さん、お気に入りや推しの消費材があると思いますが、利用が少ないと無くなるかもしれません。おいしいから、家族が好きだから、身体に良さそう、ずっと食べ続けたい、友人にもすすめたいなど、その気持ちが利用結集多くあります。

新規組合員向けのウエルカムイベントを企画している支部も1月からは、多くのあります。



石けん運動委員会

年末は消費材でお掃除しませんか？ 粉石けんひなたぼっこを使うと、油汚れとホコリが混じつたベタベタ汚れもきれいになります。換気扇や五徳の頑固な汚れは、粉石けんと酸素系漂白剤を各小さじ2～3溶かし入れた約60℃のお湯2㍑に30分つけ置き、ひかり洗いを。重曹50㌘と粉石けん小さじ1㍑、クエン酸水(水200㍉㍑)にクエッ酸小さじ1㍑を少しづつ加えホイップ状にしたクリーミクレンザーは、レンジ庫内や浴室の湯垢落としなど様々なに使えます。

今年の汚れは石けんと仲間たちでリセットして、新年を迎えましょう。



使い方動画や
石けんバンドブックは
こちら



サステイナブル委員会

「おくるみちゃん」をご存知ですか？ 銅を布で包み保温調理をする省エネグッズです。鍋を火にかけて沸騰したらおろし、おぐるみに包み余熱で調理します。おでんや煮物、スープなど加熱料理ができます。



多くのよりエネルギーを使う冬にいたオスマス！ 光熱費節約と省エネになり、保温している間に他の用事を済ませられるというメリットもあります。

わくわくまつりの来場者数が838人、当日加入が6人とまつり実行委員会より報告がありました。

生活クラブから組合員内外により効果的な発信をしていくため、理事と事務局で広報戦略チームを立ち上げ12月から会議を行い、26年度の方針策定を行います。

11月の理事会から

組織（11月度）

組合員数 12,092名

加入 73名 脱退 37名

共同購入（12月度）

利用高 2億9,905万9,409円

1世帯当たり 24,732円

グリーンシステム（11月度）

Rびん 回収 13,651本

回収率 70.8%

紙パック 売却金 5,940円

回収率 72.5%

ピッキング袋 回収率 21.5%

福祉基金（11月度）

賛同者数 2,883名 賛同率 22.6%

エッコロ（11月度）

加入者数 3,794名

加入 6名 脱退 16名

生活クラブ共済ハグくみ（10月度）

加入件数 1,294件

CO・OP共済（10月度）

保有件数 たすけあい 3,441件

あいぷらす 1,848件

電気の共同購入（9月）

〈供給契約者数〉 773名

〈電源構成比 速報値〉

9月は約8割の電力を再生可能エネルギー発電所からお届けしています。

北海道生活協同組合連合会より「核兵器も戦争もない世界を求める」共同声明連名と街頭宣伝行動等の要請があり、承認しました。

消費材への理解を深め 組合員みんなで拡大・利用結集を

監事 一瀬 美絵

生活クラブの監査とは

監査は専門家に任せらず、組合員から委任された組合員監事が行っています。生活者の視点で事業と運動のバランスを考えて点検と評価をするよう心掛けています。監査には、総代会で決定された活動方針が計画に沿って執行されているかを見ていく「業務監査」と、組合員が出資・利用・運営という形で参加している共同購入の事業高や財産状況が正しく報告され、的確に活用されているかを見ていく「会計監査」があります。監事会の主な活動は、毎回の理事会への出席、各委員会への参加、各センター・関係施設の監査、現金・預金・帳簿の照合等です。10月に上半期の監査を行い、以下のような上半期監査報告を理事会に提出しました。

上半期監査報告

●会計監査

現金を実査したところ帳簿類と相違ないことを確認し、預貯金の管理も適正に行われていました。

●拡大・組織活動

拡大状況は、厳しかった24年度に比べても加入数がさらに少なく、過去最低の結果となり深刻な状況です。情報数は紹介キャンペーンを除き前年度を上回っていますが、残念ながら加入にはあまりつながっていません。諦めることなく、また取りこぼすことなく、迅速かつ丁寧な情報対応を行い、加入につなげてください。上半期の拡大を総括し、支部、理事、支部担当職員が



札幌バルナバーズ(株)とウインナーづくり(南支部)
多くの支部が生産者コラボイベントを開催しました

•

●共同購入活動について

消費材の値上げにより供給高は上がっているものの、全体的に利用点数は前年度に比べ大幅減少しています。特に醤油や味噌といった計画品や、牛乳、豚肉などの主要品目の利用低迷が続いていることは喫緊の課題です。市販品のもつ課題を解決するためにつくられたものが消費材であり、私たちの結集力は社会の課題解決につながる運動です。

安全性やおいしさで消費材料を選ぶことはもちろん、利用することの意味を理解して消費材を選ぶ組合員を増やす活動を期待します。

牛乳は今年度も重点品目として月間利用本数3万本、利用率40%を目指し利用結集活動をすすめていますが、利用の落ち込みに歯止めがかかりません。栄養バランスにも優れ、低温殺菌だからこそ栄養の吸収も良い私たちの牛乳は、「ほんものの牛乳」を望む組合員と、生産者サツラク農協との相互理解と信頼関係のもとでつくられました。生活クラブ牛乳は語りどころがたくさんあります。決して安価ではない非遺伝子組み換え飼料を牛に与え、低温で殺菌するための乳質管理、朝一番の製造、30分もの時間をかけた殺菌方法など、手間を惜しまない生産者の努力あっての牛乳です。短時間で大量生産される経済効率優先の超高温殺菌牛乳への対案でもあります。利用率、利用本数が増えている支部もあることから、引き続き粘り強く働きかけ、わかつて飲み続ける組合員を増やす活動をすすめてください。次年度、予約制度「やすく便」が牛乳からスタートします。一次産業を守り、利用を増やすことが目的です。多くの組合員が参加し取り組むためにもしっかりと準備を整え、本部消費委員会を中心に全支部一丸となつた利用結集を切望します。

新規組合員とのつながりをつくり利用定着を図れる新規組合員フォローは、加入がなかなか進まない今、極めて重要なことです。新規組合員歓迎会は支部によって開催時期はそれ

つくる手



食べる手



その手はひとつ

41回目のわくわくまつりには道内外合わせて35生産者が参加し、消費材について語ったり、組合員と一緒に販売したりと楽しく交流しました。また、組合員の委員会活動やさまざまな取り組みなどもアピールして、食だけではない生活クラブの良さを伝えることができました。〈11/2 グランドメルキュール札幌大通公園〉

ホットケーキミックスでたこ焼き?
味は食べてのお楽しみ



木田製粉(株) × 北斗支部

焼きそばを白だしで



国岡製麺(株) × 手稲支部



(株)N Sニッセイ × 小樽支部

冷奴に魚醤、おすすめです



丸金佐藤水産(株) × 白石支部



オシキリ食品(株) × 清田支部

チョコと豆腐のスイーツ、
試食で喜ばれました!



(有)島田養鶏場

卵そのものがよくわかる、味付けなしの卵焼き

大集合! 試食や
提案はもちろん、
これが生活クラブの
した

支部 / 北広島支部

イチオシ消費材を販売。豊平は梅干し、北広島は
ソメ顆粒♥ 語る口もつい熱くなります



R びんは返してね



\北海道に核のゴミはいりません! /
原発ゼロ・市民エネルギー



ヒロシマ・ナガサキ平和行動
などの活動をパネルで紹介



あそび
コーナー

厚別・岩見沢・いしかり支部が木のおもちゃや
輪投げなどを用意♪

新米の試食は大好評!
枠を使って量り売り



とんぼの会 塙渕会長が生活クラブ米の価値をアピール

ステージ

生産者が消費材を語るステージライブや
抽選会が行われました



子どもたちに大人気！ソーランドラゴン
食べ物クイズで盛り上りました

わくわく市

サークルや個人が
ハンドメイド品を販売



わくわく市への出店料は「福島・栃木の子どもたちの
保養活動」に寄付していただきました

加入説明 コーナー



生活クラブに6人、生活クラブでんきに1人、
当日加入がありました

2025
なるほど！なつとく 生活クラブ

わくわく まつり



煎餅を焼いたり、分離機で採蜜したり♪
楽しい体験も盛りだくさん



安心して食べられるウインナーってすごい！



はちみつたっぷりの巣、持ってきたよ～

生産者 コーナー

全国から生産者が
おいしい食べ方の
お手伝いの組合員
ある暮らしを語ります



(株)北海道チクレンミート

牛ヒレステーキと無塩せきコンビーフ缶の試食は
行列ができる程…ずっと焼き続けてくれました

豊平
支部
コン

来るとわかる 委員会コーナー

食だけではない、生活クラブの活動を紹介



フィービラの森で拾った材料で
工作

森づくりプロジェクト



石けん運動

石けんの利用価値を生産者とアピール！



サステナブルグリーン

かたらんかい？ せっけんLife！ ～未来へつなぐ環境のバトン～

活動の共有と交流を目的に石けん運動をすすめている生協や市民団体、漁協、生産者が集うシャボン玉フォーラム。水環境を守るために何ができるかを、全国の仲間たちと考える貴重な機会です。1日目は全体会として基調講演と活動団体の個別報告、2日目はフィールドワークを含む分科会が行われ、今年は北海道から4人が参加しました。

〈主催：せっけん運動ネットワーク 10/17・18〉



あわおにちゃん

「かたらんかい？」は、「語る」と
「大分の方言である」、「加わる」と
「2つの意味を表します」

全体会

基調講演「海から見る地球～気候変動と海洋プラスチック問題～」

講師は、プロダイバーであり環境活動家の武本匡弘氏。太平洋はまるでプラスチックスープのよう、人は無意識の加害者であることや、日本は気候変動に理解がないように感じるが、自分たちが出来ることは気づきのあそそ分けだと考え活動していると話されました。知ることは希望につながると信じて環境教育を行い、子どもたちが給食のプラスチックストローの排除を行政に訴え実現したそうです。家事の中に社会の矛盾が詰まっていることを知っているみなさんの力は大きいと、エールもいただきました。

水資源の豊かな国に住み、あたり前にきれいな水を得ている私たちですが、水環境の汚染は確実に存在しています。次の世代へきれいな水環境を手渡すために、運動を続けていきましょう。

〈石けん運動委員会担当理事 福井 美知代〉

分科会

| 第1



講演会「暮らしに潜む有害化学物質 ～環境ホルモン・香害～」

講師は、NPO法人 有害化学物質削減ネットワーク理事の梶田博氏。環境ホルモンの人体への影響やその規制史、今問題になっている香害とPFAS問題などを学びました。関心のない人へのアプローチは難しいけれど、多くの人が苦しんでいる現実を伝えたい。参加者同士のディスカッションもあり、良い刺激を受けた時間でした。 〈福井 美知代〉

| 第2

ワークショップ 「知ろう！使おう！せっけんマルシェ」

私が参加したエスケー石鹼㈱の「コネコネマイせっけん作り」は、給食調理などの廃油が原料の石けん素地をこねて好きな形にするものです。他にも様々なワークショップや展示があり、子どもから大人まで大勢の人で賑わっていました。まだ使ったことがない人にも、石けんの安全性や多用途に使えることを知ってもらえる良い機会でした。



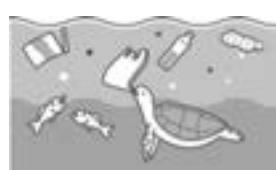
〈石けん運動委員 佐藤 真利子〉

| 第3

別府湾清掃船 体験乗船



海上清掃船「清海」に乗船し、海面に漂うごみを回収する様子を見学しました。この事業をおこなっている公益社団法人 別府湾をきれいにする会は、大分県の自治体や企業が会員となり1971年に設立された団体です。2050年には、海の魚の重量より海洋プラスチックが多くなるとの試算もあります。自分だけではなくみんなができる活動がもっとあるのではと、考えさせられました。



〈サステイナブル委員会担当理事 佐藤 静〉

上田文雄氏から私たちへ

札幌市長時代（2003～15）を除く、1991年9月から2025年9月までの24年間、生活クラブ生協北海道の顧問弁護士を務められた上田文雄氏が、去る9月18日、77才でお亡くなりになりました。

今年度の総代会でいただいた来賓挨拶を紹介し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

昨今の米騒動では米価の問題、米不足がどのように起きるのかが白日の下に晒され、安定した私たちの消費活動を実現するために何が必要なのかを、皆で考える機会が与えられているのだと思います。

生産者が安心してものをつくることができる、その安全な生産物を私たちが安心して食べ、消費することができる、こんな素晴らしいことはないと思います。自由経済の中においてそれを模索、実現していく活動だけでは限界があることを知っている私たちは、生産者と消費者の間を結びつけていく活動をずっと続けてきました。

価格の決め方についても、昨年の米価からみると倍になり、しかもそれが手に入らないという状況の中でどんな農政が行われてきたのか、流通業界はどのようなあり様だったのか、私たちはさまざまなかたちで、メディアや、知者に知恵を授かりながらしつかり自分の問題として

考えていく。それを通じて消費者活動の中でどうやって私たちが前進するのか、問題がひとつでも解決できるような取り組みができるのかを考える集団として、この生活クラブの活動も位置づけられて然るべきだと思います。

私たちは決して大きい集団とは言えませんけれど、しっかりと活動家である皆さん方がこうして地域の中におられるということはなっています。片桐理事長がおっしゃいました無関心がすべてを肯定していく、何も考えないで済ませることが私たちの生活を、自らの首を絞めていくことになる。完璧をめざすのではなく、いことが目の前で起こっている。そのことを知り得る立場にあることが罪深いと思います。

勢、自分事として物事を考えていく、そんな姿勢が何よりも大切であります。そして、今年は戦後80年という記念すべき年にあたります。その中につれて、確かに日

日本国憲法は平和国家をうたつております。そして、今年は戦後80年という記念すべき年にあたります。その中につれて、確かに日



「人権と平和を守る憲法は絶対に変えてはいけない」。2016年の憲法学習会にて



料理教室プレミエールの男性クラスではいつもムードメーカーでした

を共有し合っていく。少しでも知識を深め、行動に結びつけていくことが、私たちに求められていることだと思っております。

今、世界で大きな戦争が二つ起きています。ウクライナはもう3年が経ち、ガザ地区でイスラエルがおこなっている攻撃はジエノサイドです。第二次世界大戦で、日本が同盟国であるドイツがユダヤ人を大量虐殺しましたが、私たちはあの時そのことを知っていたら何ができたでしょうか。今、私は

ちはテレビやニュースなどから現状の一部を知ることができます。

ジエノサイド大量虐殺、無差別殺人、そして民族浄化という恐ろしいことが目の前で起こっている。そのことを知り得る立場にあることが罪深いと思います。

（取材／五十嵐）

本は直接海外派兵をしたり、自衛隊が人を殺したりということはないかった。そんな意味では消極的に平和が保たれてきたと思います。しかし日本国憲法では、日本はもう絶対に戦争はしないということはもとより、国民はこれだけの経験をしたわけだから戦争を止め、戦争をさせない、平和な国際社会を求める名誉ある地位を獲得したいけど、前文でしつかり述べています。今、私たち日本は

イスラエルやブーチンに対して何も言つていらないに等しい状況だと思います。平和、人権、さまざまなものに対し異議を申し立て、不条理に対し行動を起こしていく。そんな国民でなければならないと、私は深く思つております。直接、ブーチンに電話はできませんが、日本の國

がそうあるべきだときちんと異議を申し立てる。少なくとも自分の配偶者や子ども、孫、親戚などに言葉を尽くして語る。そういうことをやめない。「またあのおばあさん、あんなこと言つている」「あのおじさん、文句を言つていて」「あのいいんです。どうせやつても無駄、私たち一人ひとりは何もできないのだと諦めずに、多くの方が何ができるかをしつかり考え、正しいことを呼びかけ、言い続けたい。そんなふうに思います。

皆さまの深い思いを語り合う総会が意義深いものでありますよう、これから1年ますます活動が盛んになりますことを心から念じまして、ご挨拶に代えさせていただきたいと存じます。

